



静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制

イグザレルト®ドライシロップ小児用 処方換算表

体重	1回量 (イグザレルト1mgは懸濁液1mLに相当)			1日用量	使用ピペット	1瓶あたりの 投与可能日数		30日処方に必要な箱数※2,3	
	1日1回 (約24時間おき)	1日2回 (約12時間おき)	1日3回 (約8時間おき)			51.7mg製剤	103.4mg製剤	51.7mg製剤	103.4mg製剤
2.6～3kg未満			0.8mg	2.4mg	1mL	14日	—	3箱	—
3～4kg未満			0.9mg	2.7mg					
4～5kg未満			1.4mg	4.2mg	5mL	12日	14日	3箱	3箱
5～7kg未満			1.6mg	4.8mg		10日			
7～8kg未満			1.8mg	5.4mg		9日		4箱	
8～9kg未満			2.4mg	7.2mg		7日	5箱		
9～10kg未満			2.8mg	8.4mg		6日		12日	
10～12kg未満			3.0mg	9.0mg		5日	11日	6箱	
12～30kg未満		5mg		10mg	5mLまたは10mL	5日	10日		
30kg～※1	15mg			15mg	10mL	—	6日	—	5箱

※1: 体重30kg以上の患者では、イグザレルト錠・OD錠・細粒分包15mgの処方が可能です。併用注意の薬剤を併用した際、10mg1日1回（イグザレルト錠・OD錠・細粒分包10mgあるいはイグザレルトドライシロップ小児用103.4mgを処方）が考慮される場合があります。

イグザレルトドライシロップ小児用51.7mg/103.4mg電子添文

10. 相互作用 10.2 併用注意（抜粋）

フルコナゾール、ホスフルコナゾール、クラリスロマイシン、エリスロマイシン：本剤の血中濃度が上昇したとの報告がある。体重30kg以上の小児では、本剤10mg1日1回投与を考慮する、あるいは治療上の有益性と危険性を十分に考慮し、本剤の投与が適切と判断される患者にのみ併用すること。体重30kg未満の小児では、治療上やむを得ないと判断された場合を除き、これらの薬剤との併用は避けること。

※2: 投薬期間に関する制限は定められていません。

※3: 複数箱を処方する場合、違う規格の組み合わせでの処方はしないようお願いいたします。

◆ 調製後のシロップ剤の使用期限は、調製日を含めて14日間です。◆ 使用期限を過ぎたシロップ剤及びボトルは廃棄してください。

◆ 体重によって余分量が生じます。余分量は使いまわさず、廃棄してください。

イグザレルト電子添文より作成

Fontan手術施行後における血栓・塞栓形成の抑制

イグザレルト®ドライシロップ小児用 処方換算表

◆通常、2歳以上の小児に、体重に応じて以下の用法及び用量で投与します。

Fontan手術後に静脈血栓塞栓症を発症した患者は「静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制」の表をご参照ください。



体重	1回量 (イグザレルト1mgは懸濁液1mLに相当)		1日用量	使用ピペット	1瓶あたりの 投与可能日数		30日処方に必要な箱数※4,5	
	1日1回 (約24時間おき)	1日2回 (約12時間おき)			51.7mg製剤※3	103.4mg製剤	51.7mg製剤	103.4mg製剤
7～8kg未満		1.1mg	2.2mg	2.5mL	14日	—	3箱	—
8～10kg未満		1.6mg	3.2mg	5mL				
10～12kg未満		1.7mg	3.4mg	2.5mL				
12～20kg未満		2.0mg	4.0mg	5mL				
20～30kg未満※1		2.5mg	5.0mg	2.5mL	10日			
30～50kg未満※1	7.5mg		7.5mg	10mL	—	13日	—	3箱
50kg～※2	10mg		10mg			10日		

※1: 体重20kg以上50kg未満の患者では、イグザレルト錠2.5mgの処方が可能です。 ※2: 体重50kg以上の患者では、イグザレルト錠・OD錠・細粒分包10mgの処方が可能です。 ※3: 体重8kg以上10kg未満、12kg以上20kg未満の患者では、103.4mgも投与量の観点から使用可能ですが、前後の体重区分では51.7mgしか使用できず、頻繁な製品切り替えに伴う製品や投与ピペットの誤選択のリスクを低減するため、103.4mgの積極的な使用は推奨していません。 ※4: 投薬期間に関する制限は定められていません。 ※5: 複数箱を処方する場合、違う規格の組み合わせでの処方はいししないようお願いいたします。

- ◆調製後のシロップ剤の使用期限は、調製日を含めて14日間です。 ◆使用期限を過ぎたシロップ剤及びボトルは廃棄してください。
◆体重によって余分量が生じます。余分量は使いまわさず、廃棄してください。

イグザレルト電子添文より作成

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。